

開設科目の概要

科目名	科目の概要
英語基礎研究	英語学の立場から英語の基礎的な言語的特徴について概説する。英語の言語的特徴を理解し、英語学の観点から説明できるようになることを到達目標とする。
英語学概論	人間に固有な「ことば」のメカニズムを研究する現代言語学の理論（目的、基礎的概念など）と方法論について、特に英語に関して、また日本語との比較をまじえながら、講義を行うことで知識を養成し（知識の獲得）、その知識を言語現象の説明に適用したり、英語発音・文法指導内容・方法の妥当性を言語学的観点から評価したり（知識のメタ化）する演習を行うことを到達目標とする。
英文講読	目的：英米文学の代表的な作品を講読する。作品の背景となる歴史文化を含め、単なる英文解釈ではなく、意味深く、示唆的で、想像力と思考力をかきたてる文学テキストを、適切な音読を含めて一語一語大切にしながら読む。 到達目標：英米文学の代表的な作品および多様な人種・民族の文学作品を知り、多様な文体に習熟する。文学作品の文脈となる歴史文化を知る。英語と日本語との交渉を通じて英語文章の構造を理解する。文脈に適切な日本語で表現する。
英語オーラルコミュニケーションⅠ	英語のオーラル面の技能を育成する。また、英語によるさまざまな言語活動を理解するとともに、その言語活動の実践と省察を通して、教室英語（クラスルーム・イングリッシュ）を使用する力を養う。
比較文化研究Ⅰ	(1) To compare countries {lifestyles / culture / traditions / societies}. (2) To understand the concept of culture. (3) To enhance understanding of the 'other'. (4) To understand differences within and between societies.
英語科教育論Ⅰ	【授業の目的及び主旨】 中学校・高等学校英語科授業を実践するために必要な基礎・基本を、学習指導要領にもふれながら、目的論、教育課程論、教材論、能力論、指導論、評価論、授業論の観点から学ぶ。 【到達目標】 ①学校英語教育の目的、教育課程、コミュニケーション能力を育成するための指導と教材、指導と評価に関する理論を理解する。 ②英語科授業実践力（授業構想、授業展開、授業評価）について理解する。 ③学校英語教育および英語科授業実践に関する自分自身の見方・考え方を理解し、表現できる。
生徒指導論（進路指導を含む。）	生徒指導の機能を教科の学習指導に活用するための知見と方法について理解を深める。 ①生徒指導の様々な視点を多面的に捉えることができる。 ②教科学習にかかわり、生徒指導の機能について理解する。 ③対応困難な生徒指導のケースと学習とのかかわりを理解する。 ④進路指導・キャリア教育の原理等について理解を深める。
教育相談論	カウンセリングや心理療法の基礎知識、話を聴くこと、生徒指導上の諸問題へ臨床心理学的なアプローチについて学び、教育相談における教師として必要な知識を身につけ、実践力の基盤を養う。また、実践的な内容についてのグループ討議を行うなど、参加者どうしても学びを深められるようにする。 １．生徒指導における教育相談の位置づけや、教育相談に必要な基本的な考え方を理解することができる。 ２．心理学的な知見について学び、教育相談に関する新たな視点を身につける。